

## 米国における教育プログラムの分類コード(CIP)について

藤原 宏司<sup>1</sup>

**概要**：本稿では、米国の大学における教育プログラムの現状および学業修了状況に関する正確な報告体制の構築を目的として開発された教育プログラムの分類コード(CIP)について、その仕組みと実際の活用事例を紹介する。

**キーワード**：CIP (Classification of Instructional Programs)、教育プログラム分類コード、IR (Institutional Research)

### 1. はじめに

大学の国際化・グローバル化が叫ばれて久しい。我が国における大学の教育・研究機能をさらに向上させるためには、海外からの留学生および教員・研究者を増やし、多様な文化や背景を持つ者が共に学ぶ環境を構築する必要がある(文部科学省, 2009)。ゆえに、日本の大学に関するデータや各種情報を、海外へ魅力あるものとして正確に発信しなければならないが、海外の大学との間には仕組みや文化・制度上の相違点があるため、上手く伝えきれていないのが現状ではなかろうか。

例えば、米国の大学との顕著な違いとして、外部、特に公的機関への報告時における「データの集計単位」が挙げられる。日本の場合は、学校基本調査等にもあるように「学科」もしくは「学部」が基本的な集計単位となっている。

米国には、学校基本調査に類する連邦政府(米国教育省)が毎年実施しているデータコレクションプログラムとして、「Integrated Postsecondary Education Data System (IPEDS<sup>2</sup>)」が存在する。IPEDSでは、各大学の基本情報(Institutional Characteristics)、卒業生数(Completions)、奨学金・学生ローン(Student Financial Aid)、卒業率(Graduation Rates)、志願者・入学者数(Admissions)、財政(Finance)、大学執行部・教職員(Human Resources)、図書館(Academic Libraries)等、様々なデータを収集しているが、IPEDSへの報告時におけるデータの集計単位は、「大学全体」もしくは「教育プログラム(Instructional Program)」がベースである。筆者の知る限り、日本の大学のように学部・学科単位でデータを集計し外部へ報告するといったケースは、米国には存在しない。

米国の大学では、一つの学科が複数の教育プログラムを提供していることが多い。例えば、研究系総合大学の統計学科(Department of Statistics)には、学士(Bachelor)、修士(Master)、博士(Doctor)等の異なる学位レベル(Degree Level)に応じた統計学プログラムが一般的に存在する。また、中小規模の非研究系大学では、数学・コンピューターサイエンス学科(Department of Mathematics & Computer Science)のような、複数

<sup>1</sup> 山形大学 学術研究院 教授(IR・データ分析担当) メール：kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp

<sup>2</sup> IPEDS に関しての詳細は、藤原・大野(2015)を参照されたい。

の教育プログラムから一つの学科が構成されているケースがある。この場合は、同一学科に純粋数学を専攻とした学士プログラムやコンピューターサイエンスを専攻とした修士プログラム等、複数の教育プログラムが設置されることになるが、学科の名称や構成要素となる教育プログラムの種類は、各大学で異なる。このことは学部に関しても同様であり、学部名および学部に属する学科の編成は大学の自治に任せられている。つまり、学部や学科を基準としたデータ収集では、大学における教育・研究の正確な現状把握やベンチマークに支障をきたす可能性がある。これが、米国におけるデータ収集が教育プログラム単位で行われている理由ではなかろうか。

ここで、「応用数学の教育プログラムを提供している大学は全米で何校あるのか」および「応用数学専攻の卒業生数は全米で何名いるのか」という問いを立てる。一般的に数学系学科では、前述した数学・コンピューターサイエンス学科に加えて、数学科 (Department of Mathematics)、数学教育学科 (Department of Mathematics Education)、数学・統計学科 (Department of Mathematics and Statistics)、数理科学学科 (Department of Mathematical Sciences)、応用数学科 (Department of Applied Mathematics) 等が存在している。では、全米の大学を対象にして、どの大学が「応用数学」の教育プログラムを提供し、全米で何名がその教育プログラムを修了したのかを正確に集計することは可能だろうか。米国では、「Classification of Instructional Programs (以下、「CIP」という)」と呼ばれる教育プログラムの分類コードを用いてデータの管理および集計を行っているため、このような問いに対して瞬時に回答できる仕組みを整えている。

CIP とは、米国の大学における教育プログラムの現状および学業修了状況に関する「正確な報告体制」の構築を目的として、米国教育省の一部門である全米教育統計センター (NCES<sup>3</sup>) が開発した教育プログラムの分類コードである。1980 年に発表されて以来改訂を重ね、最新版は、2010 年に策定されたバージョン<sup>4</sup>となっている。米国の大学は、自大学で提供している教育プログラムの内容に最も近い CIP を任意で選択し、IPEDS や州政府、さらには適格認定団体への報告等に備えている。

例えば、筆者が IR 担当者として勤務していたミネソタ州立大学機構 (Minnesota State、以下「MnSCU<sup>5</sup>」という) ベミジ州立大学 (Bemidji State University、以下「BSU」という) では、学科 (Department)、教育プログラムおよび学位レベルを、MnSCU が運用する大規模統合型データベース (Integrated Statewide Records System、以下「ISRS<sup>6</sup>」という) 上で統合管理している (表 1 参照)。

MnSCU は、7 つの大学と 24 の短期大学で構成されている全米第 4 位<sup>7</sup>の規模を誇る州立大学機構である。筆者は、MnSCU に属している 31 校の教育機関の中から気象学 (Meteorology) の教育プログラムを提供している大学・短期大学をリストアップせよ、

<sup>3</sup> National Center for Education Statistics の略 : <https://nces.ed.gov/>

<sup>4</sup> <https://nces.ed.gov/ipeds/cipcode/>

<sup>5</sup> MnSCU は 2016 年に「Minnesota State」へと組織名を変更したが、「ミネソタ州」との混同を避けるため、本稿では従来までの「MnSCU」を使うこととする。

<sup>6</sup> ISRS に関する詳細は、藤原・大野 (2015) を参照されたい。

<sup>7</sup> <http://www.mnscu.edu/system/index.html>

というリクエストを受けたことがある。作業の詳細は後述するが、ISRS では CIP を用いて学生、教員、教育プログラム等を統合しているため、難なく対応することができた。

表 1 BSU における教育プログラムの管理例

Department	Instructional Program	Degree Level	CIP <sup>a</sup>
Math & CS <sup>b</sup>	Mathematics	Bachelor	27.0101
Math & CS	Mathematics Education	Bachelor	13.1311
Math & CS	Mathematics Elementary Education	Bachelor	13.1202
Math & CS	Mathematics Elementary and Middle Level Education	Master	13.1311
Math & CS	Computer Science	Bachelor	11.0701
Math & CS	Computer Information Systems	Bachelor	11.0401

<sup>a</sup> Classification of Instructional Programs の略で、米国における教育プログラムの分類コード

<sup>b</sup> Mathematics & Computer Science の略

CIP は、米国における標準的な教育プログラム分類コードとしての地位を確立している (National Center for Education Statistics, 2010)。他の連邦政府機関（例えば、全米科学財団や労働省）が実施しているデータコレクションプログラム、州政府や地域適格認定機関への年次報告書、共通データセット (Common Data Set<sup>8</sup>) に加えて U.S. News & World Report 社<sup>9</sup>が毎年実施している大学ランキング調査等においても、教育プログラム関連のレポートには、学部や学科ではなく CIP を用いることが原則である。

CIP のような仕組みを導入することによって、我が国においても、教育・研究における正確な現状把握およびベンチマークを効率的に実施できる可能性がある。加えて、大学ランキング対応を含む海外に対しての情報発信も容易となるだろう。本稿では、CIP の詳細と、IR 業務における一般的な活用事例を紹介したい。

## 2. CIP の仕組みと表記法

CIP は、米国における教育プログラムを整理し、47 の大分野（以下、「大分野」もしくは「2桁の CIP」という）にまとめている。大分野名のみ、分野名が全て大文字で表記されており、それぞれの大分野に対して2桁の数字コード (xx) が1対1の関係で対応する。例えば、教育学 (EDUCATION) 分野には「13」、数学・統計学 (MATHEMATICS AND STATISTICS) 分野には「27」、物理科学 (PHYSICAL SCIENCES) 分野には「40」、心理学 (PSYCHOLOGY) 分野には「42」、社会学 (SOCIAL SCIENCES) 分野には「45」、歴史学 (HISTORY) 分野には「54」が、それぞれ割り当てられている。付録に大分野のリストをまとめたが、日本語訳が適さない分野も含まれているため、オリジナルのみを記した。

<sup>8</sup> <http://www.commondataset.org/>

<sup>9</sup> <https://www.usnews.com/rankings>

各々の大分野には、その分野に関連した学問領域が存在する。CIP では、それら学問領域を中分野（4桁の CIP）として類別し、その下に小分野（6桁の CIP）を置いている。なお、最新版の CIP では、388 の中分野と 1,720 の小分野が定義されている。表 2 に、大分野としての物理科学分野（CIP：40）に属する教育プログラムの分類例を示す。

CIP における中分野は、大分野で定義された 2 桁の数字コード（xx）に、ピリオド「.」および 2 桁の数字コード（yy）を組み合わせた計 4 桁の数字コード（xx.yy）で表される。例えば、物理科学分野（CIP：40）における中分野には、化学（CIP：40.05）や材料科学（CIP：40.10）等の 8 分野があり、そこには筆者が依頼を受けた「気象学」に関連する分野（CIP：40.04）もある。ただし、この分野には、その分野名「Atmospheric Sciences and Meteorology（大気科学と気象学）」が示しているように、気象学以外の学問分野も含まれている。

表 2 CIP による物理科学分野における教育プログラムの分類（抜粋）

分野	CIP	分野名（日本語訳）
大分野（2 桁の CIP）	40	PHYSICAL SCIENCES（物理科学）
中分野（4 桁の CIP）	40.01	Physical Sciences（物理科学）
分野数 = 8	40.02	Astronomy and Astrophysics（天文学と天体物理学）
	40.04	Atmospheric Sciences and Meteorology（大気科学と気象学）
	40.05	Chemistry（化学）
	40.06	Geological and Earth Sciences/Geosciences （地質学と地球科学）
	40.08	Physics（物理学）
	40.10	Materials Sciences（材料科学）
	40.99	Physical Sciences, Other（その他、物理科学）
小分野（6 桁の CIP）	40.0201	Astronomy（天文学）
分野数 = 43	40.0202	Astrophysics（天体物理学）
	40.0404	Meteorology（気象学）
	40.0504	Organic Chemistry（有機化学）
	40.0601	Geology/Earth Science, General（地質学/地球科学、一般）
	40.0604	Paleontology（古生物学）
	40.0802	Atomic/Molecular Physics（原子/分子物理学）
	40.1002	Materials Chemistry（材料化学）
	40.9999	Physical Sciences, Other（その他、物理科学）

参照：<https://nces.ed.gov/ipeds/cipcode/cipdetail.aspx?y=55&cid=88479>

小分野は、CIP における最も詳細な教育プログラムの分類区分となっており、中分野に割り振られた 4 桁の数字コード（xx.yy）に 2 桁の数字コード（zz）を加えた、計 6 桁の数字コード（xx.yyzz）から成る。連邦政府、州政府、適格認定機関等に対する教育プログラ

ム関連の報告にはこのカテゴリーが使われることから、米国の大学のデータベースでは、この6桁のCIPを用いて学生、教員、教育プログラム等のデータを統合管理している（表1参照）。

物理科学分野（CIP：40）には43の小分野があり、「気象学」を示すCIPは「40.0404」となっている。つまり、前章で紹介したデータリクエストを完遂するためには、ISRSで管理している各大学・短期大学の教育プログラムのリスト（テーブル）から「40.0404」というCIPを持っている大学を探せばよい。クエリの結果、MnSCUにおいて気象学の教育プログラムを提供している大学は、セントクラウド州立大学（St. Cloud State University<sup>10</sup>）のみであり、作業に要した時間は1分にも満たなかった。

最後の2桁が「99」で終わる中分野および小分野は、「その他」の分野を意味する。各大学が、それぞれ提供している教育プログラムに最も相応しいCIPを任意選択していることは前述した。しかしながら、稀に教育プログラムの内容に適したCIPが見つからないケースがある。そのような場合は、「xx.99」もしくは「xx.yy99」を使うこととなる。なお、大分野に「その他」を意味する「99」の数字コードは存在しない。

### 3. IR業務における活用事例

IR担当者にとってCIPは、業務を効率的に行う上で非常に重要である。本章では、実際のIR業務におけるCIPの一般的な活用事例を紹介する。

#### 3. 1. 類似／競合教育プログラムの同定

##### 3. 1. 1. CIPを用いたベンチマーク対象の同定

ベンチマーク等を行う際には、他大学における類似もしくは競合する教育プログラムを正確に同定することが重要であり、その同定作業において、CIPは有益である。例えば、BSUでは環境学分野（CIP:03.0103）の教育プログラムに対して「Environmental Studies」というプログラム名を付けている。一方、ミネソタ州立大学モアヘッド校（Minnesota State University Moorhead<sup>11</sup>、以下「MSUM」という）、ノースダコタ大学（University of North Dakota<sup>12</sup>、以下「UND」という）、マイノット州立大学（Minot State University<sup>13</sup>、以下「MiSU」という）では、BSUと同じCIPを持つ教育プログラムの名称に、それぞれ「Sustainability」、「Earth System Science and Policy」、「Studies in Community & Environment」という異なる教育プログラム名を用いている（表3参照）。

CIPが同一であるということは、その仕組みから教育内容も同様であると考えられる。ゆえに、教育プログラムの名称が違えども、BSUの「Environmental Studies」に近いプログラムが、MSUM、UND、MiSUにおいて提供されていると判断できる。

<sup>10</sup> <http://www.stcloudstate.edu/programs/meteorology/default.aspx>

<sup>11</sup> MnSCUに属する4年制大学の一つ：<https://www.mnstate.edu/>

<sup>12</sup> <http://und.edu/>

<sup>13</sup> <http://www.minotstateu.edu/>

表 3 環境学分野の CIP (03.0103) を持つ大学における教育プログラム名称 (抜粋)

CIP	教育プログラム名	大学
03.0103	Environmental Studies	ベミジ州立大学 (BSU)
03.0103	Sustainability	ミネソタ州立大学モアヘッド校 (MSUM)
03.0103	Earth System Science and Policy	ノースダコタ大学 (UND)
03.0103	Studies in Community & Environment	マイノット州立大学 (MiSU)

### 3. 1. 2. CIP を用いた STEM 教育分野のリストアップ

米国の大学に留学している学生と CIP の間には深い関係がある。全ての留学生は卒業後、米国内で 12 ヶ月間働くことができる資格を取得できるが<sup>14</sup>、STEM (Science, Technology, Engineering and Mathematics) と呼ばれる、科学、技術、工学、数学の教育分野に属するプログラムを卒業した学生に限り、更に 24 ヶ月間の延長<sup>15</sup>が認められる。この STEM 教育分野と認定される教育プログラムのリストが、プログラム名ではなく CIP でまとめられており、インターネット上で公開<sup>16</sup>されている。なお、環境学分野 (CIP : 03.0103) は STEM 教育分野とみなされている。

### 3. 2. 教育プログラム一覧の報告

U.S. News & World Report 社が毎年実施している大学ランキング調査には、大学が提供している教育プログラムの一覧を 6 桁の CIP で入力せよ、という設問項目がある。大学ランキング関連の調査は、同社以外にも Peterson's 社<sup>17</sup>や Wintergreen Orchard House 社<sup>18</sup>等でも行われているが、教育プログラム一覧に関する質問には、CIP もしくは CIP に関連付けられている分野名で回答するのが一般的である。

同様の設問は、州政府や地域適格認定機関への年次報告書の中にもある。IPEDS は、6 桁の CIP 別の教育プログラム修了者数の報告を毎年求めているが、外部へのレポートの際に大学固有のプログラム名を用いたことはない。

### 3. 3. 教員と教育プログラムの紐付け

第 1 章で述べたように、米国の大学では複数の教育プログラムから学科が構成されることが多々ある。ISRS では、学生のみならず教員に対しても所属学科コードと CIP を割り当て、学科レベルだけではなく教育プログラムレベルにおいても紐付けを行っている。

表 1 にある CIP を大分野でまとめると、BSU の数学・コンピューターサイエンス学科では、数学・統計学分野 (CIP : 27)、教育学分野 (CIP : 13)、コンピューターサイエンス分野 (CIP : 11) に関連する教育プログラムを提供している。このことから BSU の同学科には、純粋数学、数学教育、コンピューターサイエンスをそれぞれ専門としている教員

<sup>14</sup> このような制度を「Practical Training」という。

<sup>15</sup> このような制度を「STEM OPT Extension」という。2016 年 3 月に 17 ヶ月間から 24 ヶ月間に延長期間が変更された。

<sup>16</sup> <https://studyinthestates.dhs.gov/eligible-cip-codes-for-the-stem-opt-extension>

<sup>17</sup> <http://www.petersonssurveys.com/>

<sup>18</sup> <http://www.wintergreenorchardhouse.com/>

がいと示唆されるが、「誰」が「何」を専門としているのかを知るには学科レベルでは不十分であり、教育プログラムレベルの情報が必要となる。

英国の Times 社が発行している Times Higher Education（以下、「THE」という）の世界大学ランキング<sup>19</sup>には、THE が独自に定めた教育研究分野別に、学生数や教員数、または獲得した研究費等に関する質問項目がある。THE と米国で開発された CIP は、教育プログラムの分類に関する定義が異なる。しかし、THE によって「IPEDS Subject Mapping」という 4 桁の CIP との対照表が用意されていることと、米国の大学は、教員と教育プログラムを紐付け、研究費等の複雑なデータを詳細なレベルで管理しているため、IR 担当者にとって THE への回答は、さほど困難なものではないと思われる<sup>20</sup>。

### 3. 4. 集計作業の効率化

CIP における大、中、小の分野構造は、集合の包含関係になっているため、様々な集計リクエストに対して柔軟に対応することができる。例えば、原子物理学を専攻している学生数を求めたい場合、6 桁の CIP が「40.0802」と割り当てられている学生数を求めればよい（表 2 参照）。また、物理学全般を専攻している学生名簿を作成したい時は、4 桁の CIP が「40.08」となっている学生をリストアップする。

共通データセット（Common Data Set）のセクション J（Disciplinary areas of DEGREES CONFERRED）では、当該年度における学位取得者数を「大分野」別に報告することを要求している。この場合は、付録にある 2 桁の CIP ごとに学位取得者数をカウントすることになるが、統合型データベース（ISRS）と CIP が利用可能な環境下では瞬時に作業を行える。

CIP を用いた集計作業は学内レベルに限らない。MnSCU もミネソタ州の行政機関の一つであることから、州議会や納税者に対して大学経営および教育効果等に関する説明責任を果たす義務がある。毎年報告しているデータ項目の中に、「STEM 分野における修了生数」というものがあるが、どの教育プログラム分野を STEM と見做すのかが CIP によって明確に定義されていることから、適切に集計ができる。

## 4. おわりに

本稿では、米国における標準的な教育プログラムの分類コードである CIP について、その仕組みおよび表記法と、実際の活用例を紹介した。CIP 開発の目的は、米国の大学における教育プログラムの現状および学業修了状況を正確に把握することにあった。結果、現在の米国は、連邦政府、州政府、地域適格認定機関、州立大学機構、そして個々の大学レベルにおいて CIP を用いた効率的なデータ集計が可能となっている。

<sup>19</sup> <https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/>

<sup>20</sup> BSU は非研究大学であるため、THE のランキング調査に参加したことはない。しかし、同調査の質問項目と ISRS で管理しているデータを考えると、仮に BSU が参加したとしても、回答に要する時間はさほどかからないと考えられる。

CIP を使った情報公開を積極的に実施している州もある。例えば、フロリダ州やテキサス州では、教育プログラムの修了者数<sup>21</sup>や、州で提供している教育プログラムのリスト<sup>22</sup>を CIP 単位で公開している。

CIP は、ベンチマークに重要な他大学における類似教育プログラムの同定に寄与している。ここで、CIP が存在しないケースを想定したい。CIP が目指した教育プログラム分野の合目的整理および操作性の良いコーディングシステムが開発されなかった状況下で、他大学における類似教育プログラムとのベンチマークをどう遂行するのだろうか。基本的にはインターネット検索に頼るしかないと思われる。ただし表 3 が示すような、教育プログラムの内容は近いがプログラム名称が違う、というケースには対応できないかもしれない。結果、レポートの精度を高めるには、各大学のホームページを詳細に調べる必要がある。これは、非常に時間がかかる作業となる。

米国には、「Statewide Longitudinal Data System (SLDS<sup>23</sup>)」と呼ばれる連邦政府の補助金プログラムがある。「より良い意思決定には、より良い情報が必要である<sup>24</sup>」をスローガンに始まった同プログラムは、幼稚園から大学、さらに就職後までの学生データを長期に渡って収集し、広範囲な情報に基づく包括的な教育効果の測定による改善を目指している。2017 年度時点では、ミネソタ州を含む 15 州とアメリカ領サモアが、同プログラムに参加中である。教育プログラム名に依らず、CIP を用いた教育分野の管理が可能であるからこそ、このような複雑なプロジェクトを管理・遂行していけるのであろう。

CIP を「そのまま」日本の大学に適用させるのは、やはり教育システム等の違いから不可能だと思われる。カナダが 2000 年に CIP を導入しようとしたが成功しなかった。結果、CIP を部分修正する形で、カナダ版 CIP を 2011 年に策定している。日本版 CIP を開発するのであれば、カナダのケースが参考となるだろう。このカナダ版 CIP 開発過程の詳細は、今後の調査課題としたい。

日本の大学において国際化が叫ばれて久しいが、海外に対して大学の実情を正確に発信するには、従来の学部・学科単位ではなく、欧米のような教育プログラム単位でのデータ収集が肝要である。我が国においても、教育効果、学修成果の可視化が急務であり、米国では、このアセスメント重視の流れが、「SLDS」へと繋がった。より良い情報を効率的に活用し、我が国における教育の現状を正確に把握するには、実情に即した独自の教育プログラム分類コード開発が必要なのではなかろうか。

## 謝辞

本稿作成にあたり、山形大学学術研究院の浅野茂教授にご助言をいただきました。また、2 名の査読者および編集委員会のみなさまには、貴重なご示唆をいただきました。ありがとうございました。

本研究は科研費の助成を受けました。

<sup>21</sup> [http://www.flbog.edu/resources/iud/degrees\\_search.php](http://www.flbog.edu/resources/iud/degrees_search.php)

<sup>22</sup> <http://www.thecb.state.tx.us/apps/programinventory/ProgSearch.cfm>

<sup>23</sup> <https://nces.ed.gov/programs/slids/>

<sup>24</sup> Better decisions require better information.

平成 29 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（C）

「IR を活かす学内データ管理に関する研究：統合型データベース構築への第一歩として」  
（課題番号：17K04603、研究代表者：藤原宏司）

#### 引用文献

文部科学省（2009）「中長期的な大学教育の在り方に関する第一次報告－大学教育の構造  
転換に向けて－」，

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1269944.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1269944.htm)

藤原宏司，大野賢一（2015）「全学統合型データベースの必要性を考える」，情報誌『大学  
評価と IR』，第 1 号，39-48.

National Center for Education Statistics（2010）「Introduction to the Classification of  
Instructional Programs: 2010 Edition (CIP-2010)」，

[https://nces.ed.gov/ipeds/cipcode/files/introduction\\_cip2010.pdf](https://nces.ed.gov/ipeds/cipcode/files/introduction_cip2010.pdf)

\* オンライン文献および脚注にある URL の最終閲覧日は全て 2017 年 7 月 29 日である。

[受付：平成 29 年 6 月 21 日 受理：平成 29 年 8 月 2 日]

## 付録 CIP 大分野における学問分野一覧

CIP	分野名
01	AGRICULTURE, AGRICULTURE OPERATIONS, AND RELATED SCIENCES
03	NATURAL RESOURCES AND CONSERVATION
04	ARCHITECTURE AND RELATED SERVICES
05	AREA, ETHNIC, CULTURAL, GENDER, AND GROUP STUDIES
09	COMMUNICATION, JOURNALISM, AND RELATED PROGRAMS
10	COMMUNICATIONS TECHNOLOGIES/TECHNICIANS AND SUPPORT SERVICES
11	COMPUTER AND INFORMATION SCIENCES AND SUPPORT SERVICES
12	PERSONAL AND CULINARY SERVICES
13	EDUCATION
14	ENGINEERING
15	ENGINEERING TECHNOLOGIES AND ENGINEERING-RELATED FIELDS
16	FOREIGN LANGUAGES, LITERATURES, AND LINGUISTICS
19	FAMILY AND CONSUMER SCIENCES/HUMAN SCIENCES
22	LEGAL PROFESSIONS AND STUDIES
23	ENGLISH LANGUAGE AND LITERATURE/LETTERS
24	LIBERAL ARTS AND SCIENCES, GENERAL STUDIES AND HUMANITIES
25	LIBRARY SCIENCE
26	BIOLOGICAL AND BIOMEDICAL SCIENCES
27	MATHEMATICS AND STATISTICS
28	MILITARY SCIENCE, LEADERSHIP AND OPERATIONAL ART
29	MILITARY TECHNOLOGIES AND APPLIED SCIENCES
30	MULTI/INTERDISCIPLINARY STUDIES
31	PARKS, RECREATION, LEISURE, AND FITNESS STUDIES
32	BASIC SKILLS AND DEVELOPMENTAL/REMEDIAL EDUCATION
33	CITIZENSHIP ACTIVITIES
34	HEALTH-RELATED KNOWLEDGE AND SKILLS
35	INTERPERSONAL AND SOCIAL SKILLS
36	LEISURE AND RECREATIONAL ACTIVITIES
37	PERSONAL AWARENESS AND SELF-IMPROVEMENT
38	PHILOSOPHY AND RELIGIOUS STUDIES
39	THEOLOGY AND RELIGIOUS VOCATIONS
40	PHYSICAL SCIENCES

(次ページへ続く)

(付録 contd.)

CIP	分野名
41	SCIENCE TECHNOLOGIES/TECHNICIANS
42	PSYCHOLOGY
43	HOMELAND SECURITY, LAW ENFORCEMENT, FIREFIGHTING AND RELATED PROTECTIVE SERVICES
44	PUBLIC ADMINISTRATION AND SOCIAL SERVICE PROFESSIONS
45	SOCIAL SCIENCES
46	CONSTRUCTION TRADES
47	MECHANIC AND REPAIR TECHNOLOGIES/TECHNICIANS
48	PRECISION PRODUCTION
49	TRANSPORTATION AND MATERIALS MOVING
50	VISUAL AND PERFORMING ARTS
51	HEALTH PROFESSIONS AND RELATED PROGRAMS
52	BUSINESS, MANAGEMENT, MARKETING, AND RELATED SUPPORT SERVICES
53	HIGH SCHOOL/SECONDARY DIPLOMAS AND CERTIFICATES
54	HISTORY
60	RESIDENCY PROGRAMS